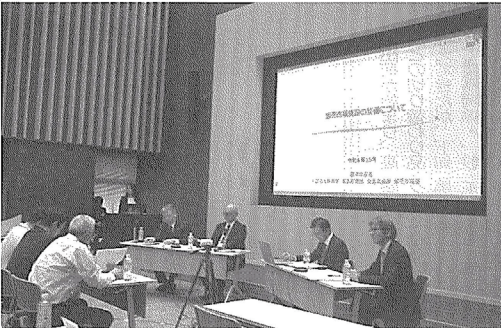


老朽化進む中央市場

急がれる施設の整備

生鮮流通フォーラムで事例

（例）パーソナル情報システム（本社・東京都港区虎ノ門、森本晋司代表取締役社長）では、第40回生鮮流通フォーラムを10月17日、東京・豊洲市場内の講堂で開催。オンライン開催はなく、全国から約1100人の参加者が会場は埋め尽くされた。



生鮮流通フォーラムでのパネルディスカッション



松本秀明議長補佐



成井昭貴会長

国65の中央卸売市場の5割弱にあたる29市場は40年以上で、大規模整備を行っておらず、うち12市場は50年以上経過。老朽化で整備を進めなければならない。令和6年度においては、要望に応えられているが、今後は要望もさらに増加する見込みで、急がれる現状にある。

今後の整備にあたっては、「卸売市場基本方針」に示された施設整備の方向性を踏まえつつ、大型車対応の荷受施設や低温管理施設、中継輸送、共同輸送に対応する物流機能の強化、モーターシフト等卸売市場施設の利用状況の変化に対応する施設の整備、施設管理の方法やデジタル技術の導入等、開設者と関係事業者が連携したソフト面での取組を併せて実施することが必要」と卸売市場施設の整備について、冒頭、松本氏から「全

今回は市整備や市場間の物流連携等の事例を取り上げ、このパネルディスカッションで紹介した。

鮮度・効率の向上を実現

1つ目は、卸売市場整備の実態と今後の方向性。司会を農林水産省大臣官房新事業・食品産業部食品流通課、卸売市場室長の成井昭貴氏。パ

石巻青果の事例では、平地から届いた荷を迅速に効率よく鮮度を維持し、また消費者に届けられる設備が整った施設とし

て、平成22年に移転開場。荷受・分荷・荷捌きまでの流れを効率よく行える設計で、適切な鮮度物流は、官民連携で民

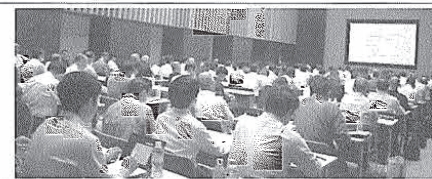
点市場としての役割・機能果たすため、新たな市場を統合し移転。入場から退場まで一方通行で交差しない物流動線を実現し、非常に効率的に定温卸売市場へ運搬保管、仲卸への販売、配送が可能と

能を果たすため、新たな連携して消費者に届けていく作業をし、産地の皆さんにも応えたい。ロジクスはそ

て利用する施設を整備する場合、開設者でなくとも支援の対象になる。福岡市中央卸売市場青果市場のベジフルスタジオは、旧青果市場への一極集中化により旧東部・旧西部市場の機能が低下、旧青果市場は老朽化・狭小化していたが、拠点市場としての役割・機能果たすため、新たな市場を統合し移転。入場から退場まで一方通行で交差しない物流動線を実現し、非常に効率的に定温卸売市場へ運搬保管、仲卸への販売、配送が可能と

能を果たすため、新たな連携して消費者に届けていく作業をし、産地の皆さんにも応えたい。ロジクスはそ

全国から多数の参加者



連携し物流強化へ

モーターシフトなど対応

広島魚市場が導入した2つでは、北九州青果（株）のオンライン受発注システム「atoha ma（アトハマ）」導入による業務効率化も紹介。管轄からは「卸を飛ばす敷」と思っていたが、便と便利。営業に時間がかかるといった問題がなくなり、戻り入庫も減った。営業担当は動

た連携して消費者に届けていく作業をし、産地の皆さんにも応えたい。ロジクスはそ

能を果たすため、新たな連携して消費者に届けていく作業をし、産地の皆さんにも応えたい。ロジクスはそ